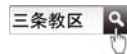


# 三条教区通信

## 第 65 号

発行日 2012年11月1日  
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
 ホームページ: www.gobosama.net



### 今月の法語

〔法語カレンダーより〕

みだ せいがん  
**弥陀の誓願は**  
 むみようじょうや  
**無明長夜の**

おおきなる

ともしびなり

『尊号真像銘文』真宗聖典 530 頁

### 東日本大震災三条教区災害救援金

皆様にご協力いただいております三条教区独自の救援金は、2012年10月31日現在、総額13,102,324円となりました。

これまでの救援金寄託状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

ご報告いたしますとともに、ご協力の御礼を申し上げます。

### 教区御遠忌実行委員会

9月19日開催の第1回三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会(小林光紀委員長、楠雅丸副委員長、土田 隆副委員長)において指名された主査を中心に各専門部会が開催され、先の教区御遠忌検討委員会による基本構想に関する答申を受け、教区御遠忌総計画策定のための具体的な作業が開始されました。

各専門部会の部員並びに主な業務内容は、以下のとおりです。

**法要部会** 儀式、法要に係る行事、出仕・参拝奨励及び運営

- 關根大丘主査 (第20組松韻寺住職)
- 巨谷 学副主査 (第10組善了寺住職)
- 多田 誓部員 (第10組専徳寺住職)
- 相場行宣部員 (第11組浄圓寺住職)
- 安原陽二部員 (第12組安浄寺候補衆徒)
- 佐藤 健部員 (第13組西方寺門徒)
- 長田 暢部員 (第16組善興寺住職)
- 安藤栄寿部員 (第21組勝樂寺住職)
- 大溪文祥部員 (第24組榮行寺住職)

**教化部会** (教区教化委員会企画委員会)

教化事業、教化教材、教化推進に係る記念行事、所属組織の活動促進・連絡

- 渡邊 学主査 (第23組明正寺住職)
- 風巻和人副主査 (第10組祐光寺住職)
- 北原 致部員 (第11組西照寺住職)
- 小岩井孝三部員 (第11組興琳寺門徒)
- 草間あつ子部員 (第12組時水勝覺寺坊守)
- 草間朋哉部員 (第12組村松勝覺寺候補衆徒)
- 半藤仙弥部員 (第12組慈光寺門徒)
- 春日 崇部員 (第14組西樂寺住職)
- 小泉惇磨部員 (第14組了元寺住職)
- 土田 隆部員 (第14組了元寺門徒)
- 細川好圓部員 (第17組護念寺住職)
- 高松久磨部員 (第19組清林寺住職)

**別院整備部会** 別院整備計画、設計・施工・監督・管理に関する事項

- 大野成一主査 (第20組真光寺住職)
- 小岩井孝三副主査 (第11組興琳寺門徒)
- 桑田正栄部員 (第10組西方寺住職)
- 松野秀則部員 (第13組善行寺住職)
- 齊藤 亮部員 (第15組正樂寺住職)
- 山宮修霊部員 (第15組永閑寺住職)
- 光井栄泉部員 (第16組願善寺住職)

**募財部会** 懇志金の募財奨励、記念品の調整

楠 雅丸主査 (第18組西源寺住職)  
井上秀紀副主査 (第11組永法寺住職)  
佐々木誠一部員 (第10組極樂寺住職)  
富樫章雄部員 (第17組妙音寺住職)  
青木 仁部員 (第20組圓周寺住職)  
金巻拾子部員 (第23組無爲心寺門徒)  
松永寛亮部員 (佐渡組因領寺住職)

**広報部会** 広報、広報にかかる記念事業、涉外、記録

渡邊智龍主査 (第18組恩長寺住職)  
北島栄誠副主査 (第11組長福寺住職)  
春日 崇部員 (第14組西樂寺住職)  
武樋和嘉子部員 (第14組蓮光寺衆徒)  
島津 晃部員 (第19組長養寺住職)  
暉 彩部員 (第19組傳誓寺衆徒)  
朝倉孝英部員 (第20組金寶寺住職)  
関根正隆部員 (第22組長徳寺候補衆徒)  
野々原昌美部員 (第23組長行寺衆徒)

**教化委員会からのお知らせ****■ 保育講習会報告1**

私は人の前に立つのが苦手で、いつも声が震えたりします。また、人に自分の心を伝えるのが苦手です。だから今回の「自己表現」というテーマにすごく惹かれ参加しました。

研修では、土居規子先生から正しい発声方法や様々なジャンルの曲を使い、身体による表現、リズムによる表現など色々な表現方法を学びました。最初は恥ずかしいという思いがあり、大きな声が出ませんでした。しかし、楽しく歌う講師の先生をはじめ、まわりの先生方を見ると、こちらも自然と声が出てくるようになりました。普段、声は出すものと思っていましたが、そうではなく、その時に合わせて声が出たり、出し方などが自然とかわってくるものだということを知りました。今回すごく感じたのは、前に立つ先生が全身で音楽を感じ、楽しむことで見ているほうも楽しくなり、自然と体が動いたり、声が出たりするということです。私も普段から保育の中で音楽に触れています。今は発表会の時期で、前で声を出したり、踊ることも多いです。ただ子どもたちにやってほしいことを伝えるのではなく、こちらが楽しみ、動きを大きくすることが大事であると、研修に参加して気づくことができました。そうすることで、子どもたちにも自然と伝わっていき、楽しんで声を出してくれたり、大きな動きで踊ってくれるのだと思います。

「自己表現」と聞くと言葉で自分の思いを伝えるというイメージがあります。私も今回の研修を受けるまでは

そう思っていました。しかし言葉で伝えるだけではなく、「自己表現」には声を使って、体を使って、リズムを使ってという色々な表現方法が含まれていることを知りました。いろんな音楽に触れ、いろんな表現方法に触れ、よい経験になりました。今回の研修で学んだことをまた保育で活かして、子どもと一緒に楽しく「自己表現力」を高めていきたいなと思います。

柏崎中央幼稚園 井上理依子

**■ 保育講習会報告2**

9月30日(日)、つくし幼稚園さんをお借りしての保育講習会 テーマ『自己表現』が行なわれました。まず、本堂で開会式が行なわれ、その後、遊戯室へ移動し実践へ。講師は、日本演奏連盟、日本声楽発声学会、かながわ合唱指揮者クラブ会員、ヨコハマコーラスフェスト実行委員、県内4団体の指揮及び6団体のヴォイストレーナーを務めてられる、土居規子先生。

「自分の心を相手に伝える為に」「自己表現力を高めよう！」ということで、まずは声出しから指導頂きました。喉に負担のかからない発声法、又、自分の体を楽器にする方法について実践を通して教えて頂きました。普段、何気なく声を出していた発声も先生から教えて頂いたやり方で、「相手に伝える大切さ」「喉だけではなく体で表現」ということを学ぶことができました。その後は、先生が用意して下さった曲、楽器を使って色々な表現方法をご指導頂きました。その中で一番印象的だったのは、「'O sole mio」「10人のインディアン」などの曲を3部のパートに分かれて合唱をしたことです。音程がなかなか掴めずに苦労したところはありませんが、みんなで1つのものを作り上げていく喜びを感じることができました。又、昔から歌われてきた「サザエさん」のテーマソングという馴染みの歌も合唱し、とても楽しくなれました。最後は横浜のアソカ、和光幼稚園さんが手がけてられる、ミュージカル『月のうさぎ』を使ってワークショップ(参加者が経験や作業を披露したりディスカッションをしながら、スキルを伸ばす場)。課題曲を頂き、3つのグループに分かれ、表現するというものでした。与えられた時間が短く、それぞれのグループで何とか考え、いざ発表へ。いくつか「他のグループと一緒にだ」と思う場面もありましたが、1人ひとりがとても笑顔で生き生きしていたように思います。運動会や作品展などで忙しい時期でしたが、価値ある1日となりました。

学校法人三条大谷学園 松葉幼稚園 渋谷麻理子

**■ 秋季声明講習会報告**

本年の秋季声明講習会では、本山堂衆の藤澤氏より「普通寺院における御遠忌法要の執行について」

という内容で、『宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌法要執行の手引き』を基に講義が行われた。

本山御遠忌が終わり、普通寺院のみならず、三条別院・三条教区の御遠忌に向けての動きも始まっており、最も「重い」法要である御遠忌を執行するための、内陣の荘厳から法要次第の作成に至るまで、細部に亘る儀式の解説があった。

頭で思い悩むことが得意で行動が伴わない己自身は、「何故儀式をする必要があるのか」という単純な思いに捉われることがある。

別院で3年勤めさせていただき、またこの講習を受講させていただき、その疑問に対する想いも変化してきたので、その一端を記してみたい。

儀式が必要であるのは、「言葉」の問題があるからではないか。仏教には、龍樹をはじめとした仏弟子たちが言葉の持つ問題点を指摘し続けてきた歴史がある。人間は「言葉に捉われる」ことがある。また、「言葉が通じない」という人間関係の難問もある。ちなみに三条別院の歴史にあらわれる「小児往生」についても、赤子には仏法を説けないという問題が前提となる。自分自身の感覚としても、仏法を説いても伝わらないという徒労感があり、そしてそれは多くの僧が感じるものであると思う。

儀式とは、「道場荘厳」「威儀荘厳」「音声荘厳」と言われるような、言葉でなく仏法を伝える仏弟子たちの苦闘の結果として存在するものなのではないか。

私自身は話が支離滅裂になり、言葉が伝えられないことがよくある。けれども、背中で仏法が語れる人間になりたいと、感じている。

これから迎える御遠忌法要においては、我々自身の一挙手一投足がそのまま仏法の表現なのだとは自覚して、緊張感をもって勤めていきたいと切に思う。

三条別院書記兼列座 齋木浩一郎

## 研修会のご案内

### ■ 准坊守の集い

開催案内既送

- ◆日 時 2012年11月20日(火)12:00～15:45
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆内 容 別院本堂参拝、諸殿拝観、茶話会
- ◆対 象 准坊守
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀)

### ■ KANGYO primary school

開催案内後送

- ～1から学ぶ王舎城～
- ◆日 時 2012年12月10日(月)14:00～17:00
- ◆場 所 教区同朋会館

- ◆講 師 渡邊学氏(第23組明正寺住職)
- ◆内 容 王舎城の悲劇について
- ◆対 象 すべての有縁の方
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

### ■ 秋安居

開催案内同封

- ◆日 時 2012年12月5日(水)～6日(木)
  - ◆場 所 教区同朋会館
  - ◆講 師 小谷信千代氏(嗣講)
  - ◆講 題 世親浄土論の諸問題
  - ◆テキスト 2012年度安居講録
  - ◆参加費 500円
  - ◆問合せ 三条教務所(担当:森)
- ※事前学習会を11月20日(火)15時より教区同朋会館にて行います(主催:「教学研究会」研修会部門)

### ■ 第32回法灯の集い

開催案内既送

- ◆日 時 2012年12月6日(木)～7日(金)
- ◆会 場 月岡温泉 華鳳
- ◆講 師 安富信哉氏(大谷大学真宗学科  
特別任用教授 第22組光濟寺)
- ◆講 題 本願の歴史に立つ  
—「宗門白書」の願いに聞く—
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波まで)
- ◆主 催 三条教区推進員連絡協議会

### ■ 靖国問題交流学习会

開催案内既送

- ◆日 時 2012年12月12日(水)～15日(土)
- ◆場 所 南京(中国)
- ◆内 容 ①南京大虐殺記念式典への参列  
②市内各地に残る虐殺跡地のフィールドワークを予定
- ◆対 象 すべての有縁の方
- ◆旅行代金 88,000円程度
- ◆定 員 15名程度
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

## 教務所からのお知らせ

### ◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- 講 師 10/8～11/18 林 文照氏(大垣教区)
- 11/19～12/30 金石潤導氏(北海道教区)
- (変更になる場合があります)

○放送局 BSN新潟放送

\*新潟県全域をカバー



- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

○時 間 毎週金曜日午前 5:00～5:10

○提 供 吉運堂 様

### ◎教区行事予定表

| 2012年                   |   |
|-------------------------|---|
| 11/15(木) 14:00<br>14:00 | 企画委員会<br>教化センター                         |
| 11/5(月)                 | ～8日 三条別院報恩講<br>三条真宗学院生出仕                |
| 11/9(金)                 | 教区門徒戸数調査委員会                             |
| 11/12(月) 14:00          | 保育研究部会                                  |
| 11/13(火) 14:00<br>14:00 | 帰敬式の研修会部門会議<br>教区御遠忌別院整備部会              |
| 11/15(木) 14:00<br>14:00 | 教化センター<br>企画委員会                         |
| 11/19(月) 13:00<br>14:00 | 教区御遠忌募財部会<br>教区御遠忌広報部会                  |
| 11/20(火) 14:00          | 准坊守の集い                                  |
| 11/21(水) 14:00          | 推進員養成講座の充実部門会議                          |
| 11/22(木) 14:00          | 教化センター                                  |
| 11/26(月) 14:00          | 教区御遠忌法要部会                               |
| 11/30(金) 14:00          | 教区御遠忌実行委員会<br>靖国問題交流学習会(南京)説明会          |
| 12/5(水)                 | ～6日 秋安居                                 |
| 12/6(木) 14:00           | ～7日 11:00 法灯の集い                         |
| 12/10(月) 14:00          | KANGYO primary school                   |
| 12/12(水) 12:00          | 教区女性研修会スタッフ会議・学習会<br>～15日 靖国問題交流学習会(南京) |
| 12/13(木) 14:00          | 教化センター                                  |
| 12/14(金) 14:00          | 企画委員会                                   |
| 12/16(日) 12:00          | ～17日 12:00 園長・設置者研修会                    |
| 12/20(木) 14:00          | 教化センター                                  |
| 12/27(木) 14:00          | 教化センター                                  |
| 2013年                   |   |
| 1/1(火)                  | 三条別院修正会                                 |
| 1/10(木) 14:00           | 教化センター                                  |
| 1/17(木) 14:00           | 教化センター                                  |
| 1/18(金) 14:00           | 企画委員会                                   |
| 1/24(木) 14:00           | 教化センター                                  |

\* 行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

## 三条仏青有志会ボランティア

10月22日から23日にかけて、「差別と真宗」共学研修会部門の交流学習会に参加し、参加者の

皆さんと共にく炊き出し>とく支援物資のお届け>をして来ました。

10月22日の炊き出しは、宮城県亘理町の浜吉田地区、仙台空港の16km程南、海岸沿いにある100世帯程の地区です。現地復興支援センターと地元社会福祉協議会にコーディネートして頂き、午後4時頃から<念珠づくり>合わせて5時から炊き出しという日程で三条を朝出発しました。昼すぎに東北別院(支援センター)に寄り、支援センターの方々と最終の打ち合わせ、準備をして、現地へ向かいました。1時間程の移動の間、支援センターの清谷さんから被災地の現況や課題などをお話頂きながら、2時頃、現地の公会堂に到着し、準備を始めました。

この地区は行政の区分でいうと「見なし仮設」という区分になり、用意された仮設住宅ではなく、地震や津波の被害にあった住宅の二階などを中心に生活されている方が多くいる地区です。また様々な状況の中で、ボランティアが入る事もほとんどなく、炊き出し等もされた事が一度もない地区だということです。ここにも被災地格差の一端があるという事をはじめて知りました。又、海水の塩分が土や地下水に残り、農作物のほとんど(特に主要作物である苺)は今も作ることができずにいるそうです。

復興に関わる様々な諸問題は、今も、これからも多岐多様にわたるわけですが、「そこにつらく、悲しい思いをしている人がいる」という現実、状況、条件の区別なくあるのだと、あらためて知らされます。

炊き出しは、約200人分のカニ汁、コシヒカリの新米、野菜イタメです。カニや新米、野菜など、事前に教区の方々からの差し入れ支援を頂き、決めたメニューです。炊き出しが始まると、地区の人たちが途切れる事なく来られ、公会堂の中や外テントなどで、できたての夕食を食べて頂きました。「おいしい!」と言って食べている時の皆さんの笑顔は素晴らしく明るかったです。

一方、<3.11>の津波の生々しい状況も聞かせてもらいました。「300人程で近くの体育館の二階にヒナンしていたが、海の方から白波を連れて向かってくる津波を見た時は、もうダメだと思って何か記録に残さなきゃと思い、携帯のカメラで撮っていた」と話されたMさん。「人に声をかけながら逃げていたら、あっという間に胸まで海水に浸かってしまった」と話されたYさん。等、1年7ヶ月を過ぎた今も、その経験された怖さは、身

体に染みついていた。でも「本当に、こんな所によく来てくれた、カニ汁と新米、すんげえ うんまかった」と満面の笑顔で手を握ってくれたSさん。事前の準備や現地では、大変だったり、慌てたりしたけれど、そんな事が一ぺんに吹き飛ばす位、こちらもうれしくなりました。

「被災地へ向かい、被災地の方々と交流する」そこに理屈も、善悪も、是非もないという事を、そのつながりこそ、互いに共有できる「生きる力」となる事を実感しました。単純に「また来たい」と今、思っています。

翌 23 日は、事前に教区内の方々に支援をお願いして集まったお米、水、又、一部の方々から頂いた多くの野菜などを持って、二本松の真行寺佐々木さんの所を訪ねました。到着後、佐々木さんから福島の実情をお話して頂きました。とても報告しきれない程多くの問題を抱えてしまっているし、今後もさらに深刻な状況になりかねない程、放射能汚染の被害は深刻化し、現在も進行形の災害です。あらゆるつながりを引き裂きながら、未来のいのちにさえ、傷を負わせる被災である事がとてもつらく、悲しく感じました。特に家族の離散、離婚と自殺、結婚や出産への不安と恐怖、それを見せつけられても何もできない高齢世代の悲痛、そしてさらに具体的には、福島県内の子どもたちへの内部ヒバク検査（被曝線量の高い地域からはじまり、8月末の時点で 18 歳以下の子どもたち 8 万人程が検査を受けた）がはじまり、かなりの割合で子どもたちの甲状腺に変化（異常）が見つかる事等、そして、それらを抱えながら、なお、福島で生きていかなければならない（福島で生きるしかない）現実、そして、そういう社会を無意識、無関心にも認め、作り上げて来た自分自身。佐々木さんの語る一言一言は、深く、重く、苦しく、悲しい「生きる」現実を、「その現実をどう生きていったらいいのか」という問いを投げかけています。それは同時に私への問いかけです。「あなたは、この現実の時代、社会において、いのちをどのように生きるのか？」と。

また、たまたま真行寺さんに来られていた郡山の主婦のノグチさん、イラク戦争の時、現地で人質となったタカトウさん、タカトウさんと多くの

行動を共にしている写真家のノグチさんの 3 人からも、少しの時間でしたが、お話を聞かせてもらい、それぞれに今の福島の多くのことを考えさせられています。

その後、持参した野菜等の整理を地元のおかあさん方と一緒に作業し、真行寺を後にしました。別れ際に佐々木さんの奥さんの、るりさんがぼつと（新潟の私たちに向かって）言っていた一言、「実家はいいなあ」が今も耳に残っています。彼女は 2ヶ月間程、お子さんたちとヒナン生活を送った新潟（とのつながり）を「実家」と呼ぶのです。家に帰り、TVをつけると、中越地震から丁度 8 年の特集が流れていました。

三条仏青有志会 巨谷 学

【三条仏青有志会】

仏青有志会は教区災害対策委員会と連携しながら東日本大震災で被災された方々の支援活動を行っています。活動に参加いただける方はご連絡ください。

連絡係 藤井信彰(14 組長楽寺)shinsho@nct9.ne.jp

新潟親鸞学会からのお知らせ

親鸞と新潟の関係見る

14年春に特別展開催へ

本社など

浄土真宗の開祖、親鸞の肖像画など約200点を集めた特別展「親鸞となむの大地」(新潟親鸞学会、新潟日報社など主催)の開催が、2014年春に県立歴史博物館(長岡市)で計画されている。準備を進める新潟親鸞学会は10日、新潟市中央区の超願寺で会見を開き、「親鸞が築いた新潟県の風土、文化を考える機会にしてほしい」と抱負を語った。

親鸞没後750年を機に企画。県内外から親鸞の姿を伝える木像や肖像画を集め、親鸞の生涯や流罪地、越後に与えた影響などに思いをはせる。

会見で親鸞学会関係者が、奈良国立博物館(奈良市)所蔵の国重要文化財「親鸞聖人像」を展示すると発表。開催まで国宝や重要文化財クラスの作品展示を目指し国などの関係機関と調整している。

10日は超願寺で里村会長や高橋道映新潟日報社社長らが出席した準備会議が開かれた。

特別展の開催期間は、14年4月26日から6月8日を予定している。



2014年春に予定される親鸞特別展について説明する新潟親鸞学会=10日、新潟市中央区

2012年10月11日 新潟日報 日刊

【親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内  
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830  
Eメール choganji@nifty.com  
新潟親鸞学会デスク(ブログ):  
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>